

フルハシEPOの事業概要

フルハシEPOは、環境ソリューション事業(木質バイオマス^{*1}および建設副産物のリサイクル・環境物流)そしてエネルギー創出事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。

^{*1} 生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で、一般的には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」を示す。

▶▶環境ソリューション事業

木質バイオマスのリサイクル (バイオマテリアル事業)

当社は、収集運搬ネットワークと最先端の技術を駆使し、製造業や建築現場から排出される木質資源(廃棄物)や建設副産物から木質リサイクルチップを生産しています。

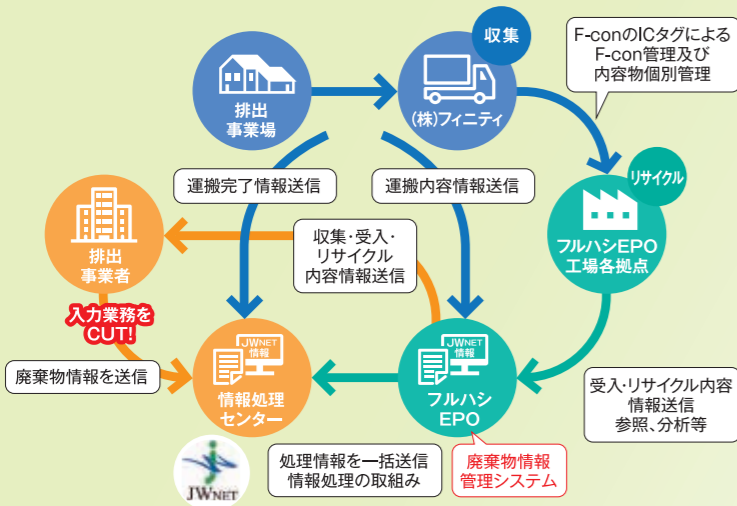
木質リサイクルチップは、紙・パルプ原料のほか、ボードなどの建材または化石燃料の代替となる木質バイオマス燃料として有効に活用されています。

建設副産物のリサイクル(資源循環事業)

新築現場から排出される様々な資材の副産物を徹底的に選別し、リサイクルすることで資源の有効利用を図ります。

当社が独自に開発した廃棄物情報管理システム「エリオット」は、廃棄物や収集運搬、リサイクル内容の情報を一元管理することにより、排出事業者からの依頼に迅速に対応することが可能です。さらに排出事業者はエリオットの情報を利用することにより、JWNETへの入力の手間を省くことができます。

建設副産物リサイクルの流れ



環境に配慮した物流機器(環境物流事業)

当社は、リサイクル資源の分別から効率的回収まで考慮した物流機器の製造販売、中古物流機器の買取や販売もしています。破損したパレットもリフォームすることにより再利用します。リサイクルできないパレットは木質資源として紙・パルプ原料のほか、ボード原料や木質バイオマス燃料として生まれ変わります。



▶▶エネルギー創出事業

クリーンなエネルギーの創出

当社は、国内2カ所でバイオマス発電事業に参画しています。^{*2}石油・石炭などの化石燃料を使用せず、木質バイオマス燃料を使用するバイオマス専燃発電所は、周辺地域で発生する建設廃材から作られた木質チップ、樹木の間伐材、剪定枝などを利用しています。

木質バイオマスを燃焼するとCO₂が排出されますが、植物の成長過程で光合成により大気中のCO₂を吸収するので、排出と吸収によるCO₂のプラスマイナスはゼロになります。このような炭素循環は「カーボンニュートラル」と呼ばれ、大気中のCO₂の濃度上昇の抑制に貢献します。

^{*2} 詳細はp.11-12をご覧ください。



Topics 第70回全国植樹祭

2019年6月2日、第70回全国植樹祭が愛知県尾張旭市の愛知県森林公園で開催され、当日の式典には当社を代表して代表取締役社長 山口直彦が出席しました。全国植樹祭は、森林・緑に対する国民の理解を得るために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催される行事です。
当社は、この植樹祭に向けて500万円相当の間伐材木質チップを献上し、一部の歩道が当社の木質チップで造られました。



間伐材木質チップで造られた歩道